

佐賀県感染症発生動向調査速報

平成16年第16週 平成16年4月12日(月)～平成16年4月18日(日)

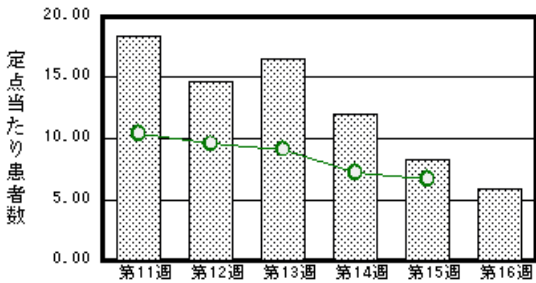
<http://www.kansen.pref.saga.jp>

佐賀県感染症情報センター

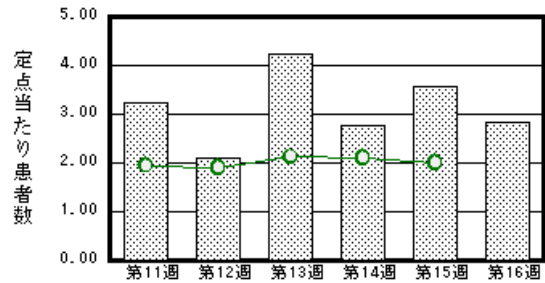
注目疾患の動向

- 【報告数の多い疾患】 感染性胃腸炎 (136名) 水痘 (65名) 流行性耳下腺炎 (40名) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (31名) 突発性発しん (26名)
- 【風しん】全国的に、患者報告数が多くなっています。佐賀県でも1名の患者報告がされています。免疫のない女性が妊娠初期に風しんに感染すると、出生児に先天性風しん症候群を発生することがあります。風しんを予防するにはワクチンが効果的です。特に妊娠予定があり、予防接種を受けておらず、風しんにかかったことのない女性は、予防接種を受けましょう。また、それ以外の免疫のない方も予防接種を受けましょう。予防等詳しくは佐賀県感染症情報センターのホームページをご覧ください。
<http://www.kansen.pref.saga.jp/kakotopics/kakotopics/fuusinn/fuusinn.html>
- 【インフルエンザ】4月6日に病原体定点で採取された1検体からインフルエンザウイルスB型が検出されました。
- 【高病原性鳥インフルエンザ】佐賀県のホームページをご覧ください。
http://www.pref.saga.jp/shigoto/chikusan/tori_inf/tori_inf.htm

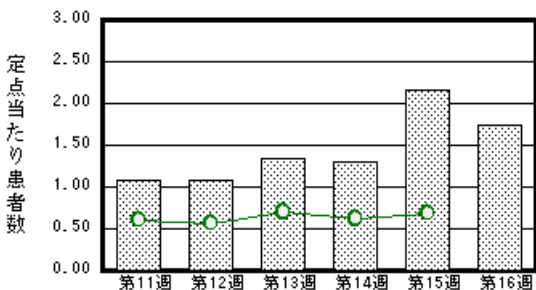
感染性胃腸炎



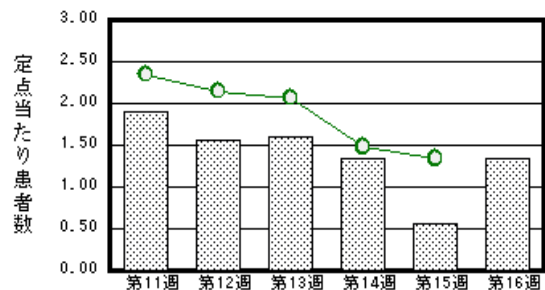
水痘



流行性耳下腺炎



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



棒グラフは佐賀県、折れ線グラフは全国の数値を表しています。

各疾患の動向グラフについては佐賀県感染症情報センターのホームページをご覧ください。<http://www.kansen.pref.saga.jp>

全国版感染症週報 (DWR) 2004年第14週号 (3月29日～4月4日) 要点

・ 発生動向総覧	< 第14週 > A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は、第14週では著減したが、過去5年間の同時期と比較してかなり多い / その他最新動向
・ 注目すべき感染症	< 風しんおよび先天性風しん症候群 > それぞれの発生状況と予防接種について
・ 病原体情報	患者から分離 検出された病原体報告 - 冬季の感染性胃腸炎関連ウイルス 2003/04シーズン / インフルエンザウイルス2003/04シーズン
・ 速報	< 今週は該当記事はありません >
・ 海外感染症情報	ブラジルのPara州でコウモリが媒介したヒトの狂犬病 / インドネシアでのデング熱の流行 / カナダで鳥インフルエンザ (H7) のヒトへの感染 / チャドでの髄膜炎流行 / 中央アフリカ共和国での髄膜炎流行
・ 感染症の話	< A型肝炎 > A型肝炎ウイルス (HAV) による疾患であり 一過性の急性肝炎が主症状である

詳細は国立感染症研究所感染症情報センターのホームページをご覧ください。<http://www.idsc.nih.gov.jp>

佐賀県感染症発生動向調査速報

http://www.kansen.pref.saga.jp

佐賀県感染症情報センター

全数届出の感染症 (佐賀県)

今週の届出はありませんでした。

佐賀県感染症発生動向調査

定点報告 (五類感染症 (週報分))

平成16年第16週

平成16年4月12日 (月)~平成16年4月18日 (日)

定点種別 (定点数)	保健所 病名	佐賀中部 保健所	鳥栖 保健所	唐津 保健所	伊万里 保健所	杵藤 保健所	計	前週	全国 (第15週)
インフルエンザ (39)	インフルエンザ (高病原性鳥イン フルエンザを除く)	1 0.08			3 0.60	3 0.33	7 0.18	8 0.21	1658 0.35
小児科 (23)	RSウイルス 感染症								56
	咽頭結膜熱	1 0.13			4 1.33		5 0.22	1 0.04	761 0.25
	A群溶血性レン サ球菌咽頭炎	11 1.38	10 3.33	4 1.00	2 0.67	4 0.80	31 1.35	13 0.57	4084 1.34
	感染性胃腸炎	32 4.00	30 10.00	44 11.00	4 1.33	26 5.20	136 5.91	191 8.30	20240 6.65
	水痘	17 2.13	19 6.33	9 2.25	5 1.67	15 3.00	65 2.83	82 3.57	6103 2.01
	手足口病		4 1.33			1 0.20	5 0.22	5 0.22	166 0.05
	伝染性紅斑								1171 0.38
	突発性発しん	8 1.00	5 1.67	8 2.00	1 0.33	4 0.80	26 1.13	31 1.35	2155 0.71
	百日咳							1 0.04	40 0.01
	風しん	1 0.13					1 0.04		189 0.06
	ヘルパンギーナ							4 0.17	147 0.05
	麻しん (成人 麻しんを除く)								67 0.02
	流行性耳下腺炎	14 1.75	5 1.67	20 5.00		1 0.20	40 1.74	50 2.17	2089 0.69
眼科 (4)	急性出血性結膜炎								20 0.03
	流行性角結膜炎							2 0.50	547 0.86
基幹 (6)	細菌性髄膜炎								5 0.01
	無菌性髄膜炎								12 0.03
	マイコプラズマ肺炎	2 1.00		1 1.00			3 0.50	1 0.17	54 0.11
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)								10 0.02
	成人麻しん								

インフルエンザは、小児科定点 + 内科定点。

細字は定点当たり患者数

(注) 印は、平成15年11月5日以降届出対象疾患。全国の集計は14週分(患者報告数)である。

佐賀県感染症発生動向調査 (定点報告 :五類感染症)

平成16年第16週 平成16年4月12日(月)~平成16年4月18日(日)

インフルエンザ 定点	インフルエンザ (高病原性鳥イン フルエンザを除く)	小児科 定点	RSV ウイルス 感染症	咽頭結 膜熱	A群溶 血性レ ンサ球 菌咽頭 炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口 病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	風しん	ヘルバ ンギー ナ	麻しん (成人 麻しん を除く)	流行性 耳下腺 炎	眼科 基幹 定点	急性出血 性結膜炎	流行性角 結膜炎	細菌性髄 膜炎	無菌性髄 膜炎	マイコ プラズマ 肺炎	クラミジア 肺炎(オ ウム病を 除く)	成人麻し ん	
6ヶ月未満		6ヶ月未満				5	3			3						6ヶ月未満								
12ヶ月未満	1	12ヶ月未満		3		13	7			21						12ヶ月未満								
1歳	1	1歳			1	35	13	2		2					5	1歳								
2歳		2歳		1	4	18	15	3							4	2歳								
3歳		3歳			2	11	12								4	3歳								
4歳		4歳			6	10	9								9	4歳								
5歳	1	5歳			8	9	4								7	5歳						1		
6歳		6歳			3	8	1								4	6歳						1		
7歳	1	7歳		1	3	7									2	7歳								
8歳	1	8歳			2	5									2	8歳								
9歳		9歳			1	4										9歳								
10歳~14歳	1	10歳~14歳			1	7						1			2	10歳~14歳						1		
15歳~19歳		15歳~19歳				2									1	15歳~19歳								
20歳~29歳		20歳以上				2	1									20歳~29歳								
30歳~39歳	1															30歳~39歳								
40歳~49歳																40歳~49歳								
50歳~59歳																50歳~59歳								
60歳~69歳																60歳~69歳								
70歳~79歳																70歳以上								
80歳以上																								
合計	7	合計		5	31	136	65	5		26		1			40	合計						3		
前期計	8	前期計		1	13	191	82	5		31	1		4		50	前期計		2				1		
当期間/前	0.88	当期間/前	***	5	2.38	0.71	0.79	1	***	0.84		***		***	0.8	当期間/前	***		***	***		3	***	
増減数	-1	増減数		4	18	-55	-17			-5	-1	1	-4		-10	増減数		-2				2		

(注) 印は、平成15年11月5日以降届出対象疾患

***は前期計が"0"のとき

